

避難所開設の流れ

ファーストミッション

- ① 初動時のリーダー等の選任 (赤色)
- ② 避難者への周知・誘導 (水色)
- ③ 施設の安全確認 (黄色)
- ④ ライフラインの確認 (緑色)
- ⑤ 掲示物の掲示 (茶色)
- ⑥ トイレの準備 (桃色)
- ⑦ 活動班の編成 (赤色)

早期の避難所開設
を目指しましょう!!

リーダー・サブリーダー主導

(運営協議会本部の指揮・サポートのもと実施)

【総務班】・・・避難者受付準備

【施設管理班】・・・居住スペースの区割り、
立入禁止区域の確認

【保健・衛生班】・・・感染症対策
(感染症流行時のみ)

避難所開設可能

【運営協議会本部】・・・状況報告、無線等の準備、
施設利用方法の検討、
ルール検討、開設報告

【食料・物資班】・・・物資確認、機材準備、
公衆電話設置、配給計画

【施設管理班】・・・施設安全確認

【保健・衛生班】・・・応急救護体制構築、
衛生管理

本部長・副本部長主導

セカンドミッション

ア ファーストミッションシート ～はじめに読んでください～

No.2
(ウラ)

① 避難所開設に向けて

この手順書に沿って準備すれば、避難所開設が誰でも簡単に行えますので**安心して下さい**。

また、開設に協力してくれる人を多く集めてください。(最低でも7人以上は集めてください)

② リーダー・サブリーダーの選任

リーダー(指示する人)と、サブリーダー(リーダーを補助する人)を決めてください。

リーダー・サブリーダーはここから動かず、指示を受けた協力者が実際に活動し、リーダー等に結果を報告します。 (※ 感染症流行時の場合はNo.3を実施)

③ ミッション実施状況の確認

協力してくれる人に①～⑥の「ミッションシート(色別)」を渡し、手順に従い準備を進めてもらい、報告を受けます。その際に別紙「進捗確認表(シートNo.4)」で全体の実施状況に漏れがないかリーダー等がチェックを行ってください。**(黄色シートの施設安全確認が終了するまで施設内への立ち入りを禁止徹底してください)**

④ 負傷者・体調不良者への対応

緊急を要する負傷者・体調不良者への対応方法の判断(119番通報による救急要請や、他の避難者との隔離待機等)についてはリーダーが行ってください。

避難により助かった命を救えるよう、対応をお願いします。

ア ファーストミッションシート No.3 (オモテ) ～はじめに読んでください～

② - 1 開設準備者の体調確認

感染症流行時
のみ実施

開設準備者が感染症に感染していた場合、感染を広げてしまう可能性があるため、リーダー及びサブリーダーは「感染症対策ボックス」の中にある非接触型体温計を使用して**体温測定**及び以下の**健康チェック**を実施してください。

【健康状態チェック】

● 発熱・微熱・熱っぽい	ある ・ ない
● せき・のどの痛み・たん・くしゃみ	ある ・ ない
● 体のだるさ	ある ・ ない
● 味やにおいを感じられない	ある ・ ない
● 嘔吐・吐き気	ある ・ ない
● 下痢	ある ・ ない

37.5℃以上の発熱又は**チェック項目に該当がある**場合には、感染拡大防止の観点から、**別の人に開設準備を依頼**してください。

※ 体調不良者は専用スペースを設けて待機させてください。

色別のミッションカードを
協力者に渡してください

この確認表で進捗状況を確認してください。

ファーストミッションシートNo.1、2

- リーダー・サブリーダーの選任 開設準備者の体調確認 (感染症流行時)

避難者への周知・誘導

- 避難者への呼びかけ 誘導表示の掲示

施設の安全確認

- 避難所となる施設の安全確認

ライフラインの確認 (電話・FAX・インターネットは施設管理者がいる場合問い合わせ)

電気	_____	可・不可	水道	_____	可・不可
下水道・排水設備等	_____	可・不可	ガス	_____	可・不可
放送設備	_____	可・不可	電話	_____	可・不可
FAX	_____	可・不可	インターネット	_____	可・不可

掲示物の掲示

- 避難者の一時待機の掲示 避難者への協力依頼の掲示

トイレの準備

- 既設トイレ使用確認 又は 簡易トイレの設置
(既設トイレが使用できない場合は簡易トイレを設置する)
- トイレ表示の掲示

上記の実施が確認できたら、赤色ファーストミッションシートNo.5の「活動班の編成」を行ってください。

ファーストミッションシートNo.5

- 活動班の編成

チェックが終わったら、班に該当したケースの中のセカンドミッションシートを各班長に渡し、活動を開始してください。

～運営本部・班を編成しましょう～

① 協力者を集めて活動班を編成

進捗確認表の事項が確認できたら、協力してくれる人達を全員集めて、避難所を開設するための班分けをしましょう。(裏面名簿に記入してください)

※ 感染症流行時には、この際にも新しい協力者に対して体調確認を実施してください。

- 1 **避難所運営協議会本部**
[本部長1人、副本部長2人]
- 2 **総務班**(3人以上)
※ 避難者受付等
- 3 **食料・物資班**(2人以上)
※ 物資管理・照明等設置等
- 4 **施設管理班**(3人以上)
※ 居住区画の整理等
- 5 **保健・衛生班**(2人以上)
※ 感染対策・衛生管理等

13人程度は集めなければ1人あたりの負担が大きくなります。
班員は多いほど活動が効率的に行えます。

[人を割り振り、各班の班長を決めてください]

No.1のシートを参考に、早期の避難所開設を目指しましょう。

② 開設に向けて

本部長、副本部長及び班長は、ビブスを着用し、班に該当したケースの中のセカンドミッションシートに従い、活動を開始してください。

ビブス



ミッションケース



避難所開設時編成名簿

No. 6
(ウラ)

避難所運営協議会本部

本部長		
副本部長		

総務班

班長		
班員		

食料・物資班

班長		
班員		

施設管理班

班長		
班員		

保健・衛生班

班長		
班員		

避難者への周知・誘導

この手順書を協力者に渡して下さい

① 避難所開設までの待機場所

避難所の安全が確認できるまで、**広く安全な場所**で一時待機してもらいます。

ボックス内のメガホンを使用し、裏面の呼びかけ例を参考に避難者へ呼びかけを行ってください。

（避難者が多い場合は複数人で実施）



メガホン

② 留意事項

- 1 車の乗り入れは原則禁止。
- 2 町内会ごとで待ってもらいます。
- 3 塀等の倒れる危険性のある物に近づかない。
- 4 協力してくれる人を募りながら呼びかける。
- 5 避難所受付開始まで繰り返し呼びかけを実施。

6 感染症対策のため世帯ごとに距離を取り待機

感染症流行時
のみ実施

呼びかける際の例文はウラ面を参照

避難者への周知・誘導

③ 避難者への呼びかけ例文

例1：「施設の安全を確認中です、安全が確認できるまで〇〇〇（一時待機場所）でお待ちください。」

例2：「私たちも被災者です、避難所の開設を手伝ってくれる方はいませんか。」

例3：「感染症対策のため、世帯ごとに距離を取ってお待ちください。」

感染症流行時
のみ実施

誘導表示・
養生テープ
を準備

④ 誘導表示の掲示

呼びかけと並行して、誘導表示を敷地入口等の避難者から確認しやすいところに掲示してください。



活動実施後
指示した人に報告してください

施設の安全確認

この手順書を協力者に渡して下さい

① 避難所となる施設の安全確認

施設管理者や避難所担当職員がいない場合、避難者2人以上で別紙の「建物被災状況チェックシート」を使用して、施設の使用可否を応急的に判定してください。（細い黒マジックを準備してください）

建物被災状況チェックシート

コンクリート造等建築物
(手順)

- 災害対策本部の避難所担当職員や施設管理者がいない場合で、早急に施設内への避難が必要な場合、避難者が2人以上で、このチェックシートにより、目視による点検を行います。
- 質問1から順番に点検を行い、質問1～6（外部の状況）までで、B又はCと判断された場合は、建物内に入ることはせず、質問7以降の内部の状況については点検する必要はありません。
- 危険と認められる場所については、貼り紙をするなどで立入禁止とします。
- このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、災害対策本部へ連絡し、被災建築物応急危険度判定士による判定を待ちます。

避難所名： _____
点検実施日時： ____月 ____日 ____時 ____分
点検実施者名： _____

次の質問の該当するところに○を付けて下さい。

質問	該当項目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性がありますか？	A いいえ B 傾いている感じがする C 倒れ込みそうである
2 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
3 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周囲の地面が沈下しましたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
4 建物が傾斜しましたか？	A いいえ B 傾斜しているような感じがする C 明らかに傾斜した
5 外部の柱や壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6 外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？	A いいえ B 落下しかけている、落下している（Cの回答はありません）
7 床が壊れましたか？	A いいえ B 少し傾いている、下がっている C 大きく傾斜している、下がっている

8 内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
9 建具やドアが壊れましたか？	A いいえ B 建具・ドアが動かない C 建具・ドアが壊れた
10 天井、照明器具が落下しましたか？	A いいえ B 落下しかけている C 落下した
11 その他、目についた被害を記入して下さい。 (例：棚が傾いた、水・ガスが漏れている、家具が倒れたなど)	

【判断基準】

1 質問1～10を集計します。

A	B	C

2 必要対応をとりまします。

- ◎ C の答えが一つでもある場合は、『危険』です。施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要対応を検討します。
- ◎ B の答えが一つでもある場合は、『要注意』です。施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。
- ◎ A のみの場合
危険箇所には注意し、施設を使用します。

※ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検して下さい。

※ このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであるため、災害対策本部へ連絡し、できる限り早く被災建築物応急危険度判定士による判定を受けて下さい。

建物被災状況チェックシート

施設の安全確認

② 留意事項

- 1 2人以上で判定する。
- 2 ガラスの破片、塀の倒壊、落下物に注意。
- 3 点検はチェックシートの質問順に行い、外部の状況（質問1～6）から判定し、その判定結果に応じて内部の状況（質問7以降）を判定する。
- 4 危険と認められれば、立ち入り禁止テープや貼り紙で明示する。
- 5 チェックシートに関わらず、建物の状況に不安がある場合、災害対策本部に連絡し、応急危険度判定士による判定を待つ。
- 6 施設管理者等が到着すれば、任務を交代してもらおう。

活動実施後
指示した人に報告してください

建物被災状況チェックシート

建物被災状況チェックシート

コンクリート造等建築物

（手順）

- 1 災害対策本部の避難所担当職員や施設管理者がいない場合で、早急に施設内への避難が必要な場合、避難者が2人以上で、このチェックシートにより、目視による点検を行います。
- 2 質問1から順番に点検を行い、質問1～6（外部の状況）までで、B又はCと判断された場合は、建物内に入ることせず、質問7以降の内部の状況については点検する必要はありません。
- 3 危険と認められる場所については、貼り紙をするなどして立入禁止とします。
- 4 このチェックシートの質問項目に関わらず、少しでも建物の状況に不安がある場合は、災害対策本部へ連絡し、被災建築物応急危険度判定士による判定を待ちます。

避難所名： _____

点検実施日時： _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分

点検実施者名： _____

次の質問の該当するところに○を付けて下さい。

質 問	該当項目
1 隣接する建物が傾き、避難所の建物に倒れ込む危険性がありますか？	A いいえ B 傾いている感じがする C 倒れ込みそうである
2 建物周辺に地すべり、がけくずれ、地割れ、噴砂・液状化などが生じたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
3 建物が沈下しましたか？あるいは、建物周囲の地面が沈下しましたか？	A いいえ B 生じた C ひどく生じた
4 建物が傾斜しましたか？	A いいえ B 傾斜しているような感じがする C 明らかに傾斜した
5 外部の柱や壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
6 外壁タイル・モルタルなどが落下しましたか？	A いいえ B 落下しかけている、落下している (Cの回答はありません)
7 床が壊れましたか？	A いいえ B 少し傾いている、下がっている C 大きく傾斜している、下がっている

8 内部のコンクリートの柱、壁にひび割れがありますか？	A ない又は髪の毛程度のひび割れがある B 比較的大きなひび割れが入っている C 大きなひび割れが多数あり、鉄筋が見える
9 建具やドアが壊れましたか？	A いいえ B 建具・ドアが動かない C 建具・ドアが壊れた
10 天井、照明器具が落下しましたか？	A いいえ B 落下しかけている C 落下した
11 その他、目についた被害を記入して下さい。 (例：塀が傾いた、水・ガスが漏れている、家具が倒れたなど)	

【判断基準】

1 質問1～10を集計します。

A	B	C

2 必要な対応をとります。

◎ C の答えが一つでもある場合は、『危険』です。

施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、他の避難所への移動等、必要な対応を検討します。

◎ B の答えが一つでもある場合は、『要注意』です。

施設内へは立ち入らず、災害対策本部へ連絡し、専門家による応急的な補強を行う等、必要な措置を講じます。

◎ A のみの場合

危険箇所に注意し、施設を使用します。

※ 余震により被害が進んだと思われる場合は、再度チェックシートで被災状況を点検して下さい。

※ このチェックシートによる判断は、あくまで臨時的なものであるため、災害対策本部へ連絡し、できる限り早く被災建築物応急危険度判定士による判定を受けて下さい。

① ファーストミッションシート (緑色)

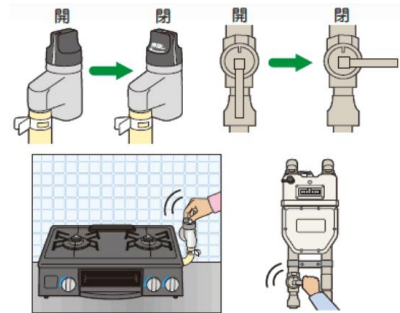
ライフラインの確認

この手順書を協力者に渡して下さい

① 避難所内のライフラインの確認

2人以上で避難所内のライフライン等の確認を裏面の「ライフライン確認表」を使用して実施してください。

(電気、水道、下水道、ガス、放送設備)



施設関係者がいる場合には上記以外にも電話、FAX、インターネットについても確認してください。

! 施設内に入る場合は、施設の安全が確認された後としてください。施設の安全確認は別の協力者 (シート色：黄) が行っています。

ライフライン確認表はウラ面を参照

ライフラインの確認

② ライフライン確認表

(どちらかに○)

マジック準備

- | | | | |
|--------------------------------|--------------|-------|------|
| 1 | 電気（避難所内の主要部） | _____ | 可・不可 |
| 2 | 水道 | _____ | 可・不可 |
| 3 | 下水道・排水設備等 | _____ | 可・不可 |
| (排水設備に損傷がないことが確認できるまでは不可とする) | | | |
| 4 | ガス | _____ | 可・不可 |
| (ガスが止まっていることを確認：ガス栓・メーターガス栓) | | | |
| 5 | 放送設備 | _____ | 可・不可 |
| ・ ・ 6～8については施設関係者がいれば確認を実施 ・ ・ | | | |
| 6 | 電話 | _____ | 可・不可 |
| 7 | FAX | _____ | 可・不可 |
| 8 | インターネット | _____ | 可・不可 |

活動実施後
指示した人に報告してください

掲示物の掲示

この手順書を協力者に渡して下さい

① 応急的な掲示物の貼り出し

避難者に対する一時待機の呼びかけや協力依頼を、避難してきた人の目に付きやすい場所に掲示してください。

掲示物・養生テープを準備

- 1 避難者の一時待機（2枚）
- 2 避難者への協力依頼（2枚）

② 掲示物 下の2種類の掲示物を掲示してください。同時に呼びかけも実施してください

一時待機をお願い

- ◆ 倒壊等の危険があるため、**施設や塀などには近づかない**でください。
- ◆ 避難所として使用する施設の安全確認などを行っているため、**広く安全な場所**でお待ち下さい。
- ◆ 避難所受付のために、**町内会ごと**に待機をお願いします。
- ◆ **車の乗り入れは原則禁止**です。

避難者の一時待機

避難所運営への協力をお願いします

- 避難所は**地区住民が主体**となって運営します。
- 避難所運営には避難者の受付や食料の配給など、やらなければならないことが、たくさんあります。
- 運営に携わっている人もみなさんと同じ被災者です。
- 避難所の運営に協力をお願いします。
運営の仕事を手伝っていただけの方は運営役員にお声がけ下さい。

避難者への協力依頼

活動実施後
指示した人に報告してください

トイレの準備

この手順書を協力者に渡して下さい

! 他の協力者（黄色シート）の施安全確認
が終わるまでは、**施設には入らない。**

① 被災者受入前にトイレの準備

トイレの準備は3人以上で行います。

発災直後は排水設備が壊れている可能性があるため、全てのトイレを一旦使用禁止にし、簡易トイレで対応します。

要配慮者用のトイレスペースも準備してください。（1階 多目的トイレ等）

感染症流行時
のみ実施

感染症用トイレも場所を準備。

② 簡易トイレ等を保管場所から搬送

まずは裏面の物資保管場所を参考に、下の写真の物を運んできてください。



災害用簡易トイレ
（プラダントイレ）

または



災害用簡易トイレ
（ボックストイレ）

+



災害用トイレセット
（マイルット）

+



トイレ用テント
（レスキューテント）

トイレの準備

③ 物資保管場所

施錠があれば
保管場所の鍵を使用
（かぎ保管庫内保管）

実際には
避難所開設に必要な情報
が表記された
各施設ごとの図面が
差し込まれています。

【表記事項例】

- ・ 備蓄倉庫位置
- ・ 備蓄物資保管位置
- ・ 解錠可能な施設入口

避難所開設用図面

④ 災害用簡易トイレの設定

掲示物・
養生テープ
を準備

既設トイレ空間が安全であれば個室トイレを活用し、
使用できなければトイレ用テントと災害用簡易トイレ
を設定してトイレを確保してください。

個室トイレ・災害用簡易トイレ共に、ビニール袋と
災害用トイレセット（凝固剤）を活用し、水で流さず
に処理するよう周知してください。

入口にトイレの使用方法を掲示してください。
（ボックス内にA3サイズ様式があります）



活動実施後
指示した人に報告してください

使用方法

災害用トイレセットの使い方

Instructions

How to use the emergency toilet set

사용방법

지해용 토일렛세트 사용방법

使用方法

災害用廁所套裝的使用方法



既存トイレ等に、
排便袋をセットします。

Place the excrement bag in the toilet.

기존 변기 등에 배변봉투를 설치합니다.

將排便袋套在现有的座便器等上。



用を足した後、凝固剤を
ふりかけるだけで固まります。

After using the toilet,
add the coagulant to solidify the toilet contents.

용변을 본 후에 응고제를 뿌리기만 하면 응고됩니다.

使用排便袋排泄后，只需撒上凝固剂就会凝固。



排便袋を取り出し、
袋の口を結びます。

Remove the excrement bag, and tie it shut.

배변봉투를 빼고 봉투 입구를 묶습니다.

取出排便袋，系紧袋口。

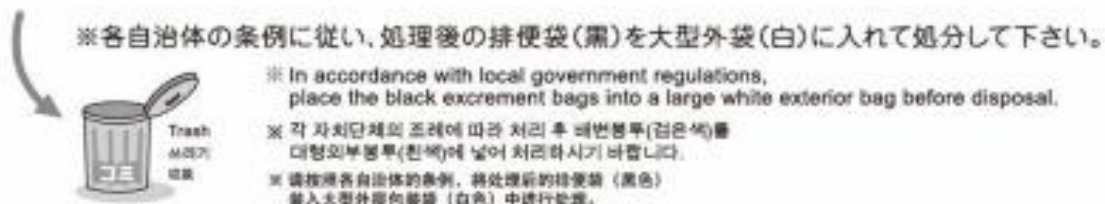


可燃ゴミとして、
袋ごと処分して下さい。

Dispose of the bag as burnable garbage.

봉투째 가연성 쓰레기로 처리하시기 바랍니다.

請作为可燃垃圾整袋处理。



※緊急時には「使用方法ポスター」
としてご利用下さい。

※ Use this as an "instructional poster" in case of emergency.

※ 긴급 시에는 「사용방법 포스터」로 사용하시기 바랍니다.

※ 請在緊急情況下用作“使用方法宣傳畫”。